

いま、 本当に必要な 医療について考えるとき

現在、休日や夜間において、軽症の患者さんの救急医療への受診が増加し、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたすケースが発生しています。必要な人が、安心して本当に必要な医療を受けられるようにするため、また、私たちの大切な保険料から支払われる医療費を有効に活用するため、一人ひとりがマナーとルールを守って受診しましょう。

近所の診療所(医科・歯科)に「**かかりつけ医**」を持ち、気になることがあったらまず相談しましょう。

check ✓

1 いくつかの医療機関を
ハシゴしていませんか？

はしご受診(重複受診)はやめましょう

同じ病気で医療機関を変えると、検査・治療・薬などを最初からやり直すことになり、医療費と身体に重い負担となります。治療に不安等があるときはかかりつけ医に相談しましょう。

check ✓

2 “大きな病院”へは
紹介状をもらってから

紹介状があれば、初診時の
「特別料金」はかかりません

初診の時、紹介状なしに大病院を受診した場合、初診料に加えて全額自己負担の「特別料金」がかかります。治療の事で不安・心配な事はかかりつけ医に相談しましょう。

check ✓

3 休日・夜間の受診は
控えましょう

休日や夜間に開いている救急病院は
救急患者受け入れのため

平日や日中に受診する時間がないからなど、自分の都合で救急病院を受診するのは控えましょう。また、診察代のほかに加算料金により医療費が余計かかります。



もっちゃん

📞 **こども救急相談電話** TEL **019-605-9000** または **#8000**

年中無休/午後7時～午後11時

夜間における、お子様の急な病気や事故への対処の仕方や、応急措置などを相談できます。小児科経験のあるベテラン看護師から症状に応じたアドバイスが受けられます。

お薬のこと

- ◎ 「お薬手帳」をもち、お薬の相談はかかりつけ薬局の薬剤師にしましょう。
- ◎ 安全で安価なジェネリック医薬品について、薬剤師に相談してみましょう。
- ◎ 薬の飲み合わせによって副作用が起こる場合があります。服薬中の薬などの情報を薬剤師に伝えましょう。



国民皆保険

みんなので支えよう、



自分のため、大切な人を守るため、日頃から健康づくりを心がけましょう。

Happiness

